



食料品業界の改革

食料品メーカーと消費者を直接つなぐ
分散型エコシステム

www.ins.world

[1 ページ資料](#)

[プレゼンテーション](#)



免責事項

このホワイトペーパーに記載された情報はプロジェクトのすべてを網羅していない可能性があり、契約に関してのいかなる要素を意味するものではありません。このホワイトペーパーの内容は、INS Ecosystem Limited（「INS Company」または「INS」）に対して拘束力を有するものではありません。また、INSはウェブサイト上で修正されたホワイトペーパーを掲載することで、INS トークンの販売前、販売中、販売後の任意の時期において、その理由を問わずこのホワイトペーパーの一部を変更・修正・追加または削除する権利を有するものとします。

このホワイトペーパーは、投資、法律、税制、規制、金融、会計、その他に関するアドバイスをするものではなく、INS トークンの取得に関する取引を評価するための基本情報を提供するものでもありません。購入を検討している場合は INS トークンを取得する前に潜在的な利点、責任、その他かかる取引によってもたらされるその他の結果を見極めるため、自身の法務、投資、税務、会計、およびその他のアドバイザーにご相談ください。

本ホワイトペーパーの記載内容は、目論見書または投資への勧誘とはみなされません。また、いかなる国の法律においても証券の購入オファーまたはオファーの勧誘には関係しません。本文書は、任意の法域においてデジタルトークンに関する取引、またはその使用を禁止する、または何らかの手段で制限を行う各種法令や規制に従って作成されたものではありません。

INS トークンはデジタル通貨、有価証券、商品、その他の金融商品ではなく、1933 年連邦証券法、米国内の任意の州の証券法や、トークンの購入検討者が居住する任意の管轄区域の証券取引法を含むその他の国の証券法の下で登録されたものではありません。

デジタルトークンの取引が禁止されている、または法律または規制によって制限されている国または地域を常居所とする、または所在地または法人拠点を置く市民、自然人、法人に対する INS トークンの提供や配布、ならびに転売や譲渡を行うことはできません。このような制限を受ける者が INS トークンを購入した場合、あるいは不法、不正、詐欺的な行為を行った場合は、否定的な結果をもたらすことになります。

INS はシンガポール、中華人民共和国、および関係政府当局によってデジタルトークンに関する取引や使用が厳格に規制を受けている、あるいは INS に登録や認可を要求するその他の国ではいかなる規制対象業務においても INS トークンの提供や配布を行わず、または事業（活動）を行うことはありません。

INS トークンの各購入者は、購入者の管轄区域の法律に従って文書が合法的に提示される可能性があるという原則に基づいて、このホワイトペーパーが提示されていることに注意する必要があります。購買者が購入者の管轄区域で INS トークンを合法的に購入できるかどうか、特定の管轄区域の別の購入者に INS トークンを転売できるかどうかを判断するのは、INS トークンの潜在的購入者の責任です。

このホワイトペーパーの特定の記述、見積、および財務情報は、将来に関する記述または情報が含まれます。そのような将来に関する記述や情報には実際の出来事や、そのような将来に関する記述内の見積や暗示または表現された結果とは著しく異なる結果を引き起こす可能性がある未知のリスクや不確実性が含まれています。

英語版のホワイトペーパーが本プロジェクトに関する主要な公式の情報源です。英語版のホワイトペーパーに含まれる情報は、時折、他の言語に翻訳されることがあります。そのような翻訳の過程で、英語版のホワイトペーパーに含まれている情報の一部の消失・破損・誤表示が発生する可能性があります。このような代替的な情報の精度は保証されていません。このような翻訳と英語版の公式ホワイトペーパーとの間に矛盾または矛盾が生じた場合は、英語版の原文の規定が優先されます。

目次

1. 概要	3
2. はじめに	6
2.1. 食料品市場の課題	6
2.2. 創設者の経歴	9
3. 市場の概要	11
3.1. グローバル食料品市場	11
3.2. オンライン食料品市場	13
4. INS エコシステム	15
4.1. 概要	15
4.2. エコシステムの参加者	16
5. INS プラットフォーム	21
5.1. 主要コンポーネントとプロセス	21
5.2. 消費者およびメーカーのインセンティブ	25
6. アプリケーションとインターフェイス	27
7. ロードマップ	30
7.1. 開発ロードマップ	31
7.2. 地理的な展開計画	33
8. INS トークン	34
8.1. 構造	34
8.2. 用途	34
8.3. 普及	35
9. トークンセール	36
9.1. 概要	36
9.2. トークンセールの収益	38
9.3. KYC（顧客確認）	38
9.4. ESCROW	39
9.5. INS PROMO TOKEN (INSP) AIRDROP	39
10. チームおよび顧問	40
10.2. コアチーム	42
12. リスク要因	44

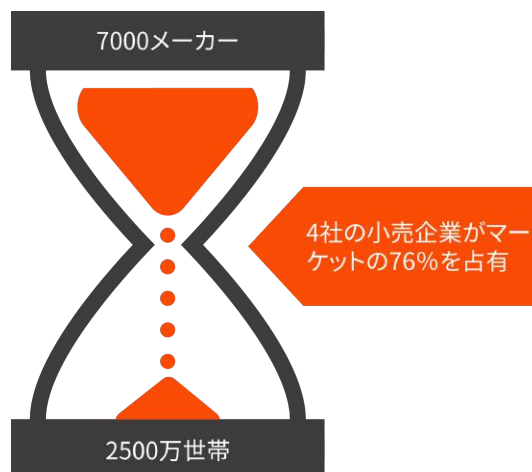
1. 概要

このホワイトペーパーでは、グローバルな食料品市場の課題、変革の可能性を提供する技術的パラダイムシフト、およびその可能性を活かすために INS が開発を手掛けているソリューションのビジネスおよび技術的側面について検討します。本ホワイトペーパーの要点は以下の通りです。

世界最大の消費市場である食料品市場は、2020 年までに 8.5 兆ドルに達すると予想されています。その成長の大半はオンライン市場に由来するものであり、デジタル化への転換点に達しています。IDG 社の試算によれば、INS のターゲットセグメントであるオンライン食料品店の市場規模は 2015 年には 980 億ドルでしたが 2020 年には 2,900 億ドルまで成長すると予想されています。

その驚異的な成長にもかかわらず、食料品の市場には食料品小売業者による悪習と非効率なトレードプロモーションという相互に関連する2つの大きな問題が存在します。

食料品市場は小売業者によって支配されています。 小売店チェーンは食料品の売上において非常に高いシェアを獲得しており、メーカーに対して非常に大きな影響力を持っています。このことが、全世界の消費者に深刻な影響を与える原因となっています。小売業者は、増産する食品やその処理方法、包装、価格やプロモーションに関する決定を行います。たとえば英国では、4 つの小売業者が 7,000 社のメーカーの製品を 2,500 万世帯に販売する数少ないパイプ役としての役割をもっており¹、このことは食料品業界における小売業者の権力の乱用がいかに発達し、蔓延しているかを示しています。



¹ 出典: 国際消費者機構

非効率で、高コストかつ時代遅れのトレードプロモーションが実践されています。トレードプロモーションへの支出は、メーカーの売上高の 17 %にのぼります²。毎年 500 億ドル以上を³トレードプロモーションに費やしていても、その効果が消費者に届くことはありません。今日のプロモーションにおける不公平感は、プロモーションコストの上昇とそれに起因する非効率性と密接に関係があります。95%のメーカーが、トレードプロモーションの非効率性が非常に重要な問題であることを認めています。⁴



INS は分散型エコシステムを導入しているため、消費者は日常の買い物を食料品メーカーから直接購入することで最大 30 %も節約できます。

消費者とメーカーとの間での直接取引を可能にします。つまり、小売業者や卸売業者を通さず、よりパーソナライズされた、透明性の高い食料品の買い物を低価格で経験することができます。消費者は希望するブランドと、必要な商品を決めることができますようになります。弊社はこれを「ショッピング 2.0」と呼んでいます。21 世紀の顧客は、消費者が本当に求めるものではなく小売業者の利益を最大化するように小売業者が商品をプッシュするような一方的な店頭方式のコミュニケーションに疲弊しているからです。我々はまた、小売業者のサプライチェーンや調達条件を満たすことができず、小売店に商品を並べてもらうこともできない農家などの独立した地元の製造業者にも消費者が直接アクセスできるようにしたいと考えています。

メーカーが消費者に直接商品を売り込めるようにします。小売業者や卸売業者に支配された高コストで非効率なトレードプロモーションをなくします。INSはメーカーが直接顧客に報いることができるよう、オーダーメイドのマーケティングプログラムを作成できるようにします。

² 出典: [米デロイト社](#)、[全米マーケティング協会](#)。

³ 出典: [米デロイト社](#)。

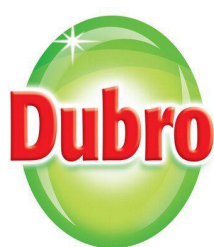
⁴ 同書。

これらのプログラムはスマートコントラクト上で実行され、報酬はINSトークンで支払われます。これは多くの航空会社のマイルに基づく報酬プログラムに似ていますが、その背後にあるスマートコントラクトによってより高度で実行コストが安く、パーソナライズ化されています。これは、ブロックチェーンとスマートコントラクトの時代が来るまではほぼ実現不可能でした。

INS は自社が持つ食料品業界の深い知識と世界最大の食料品メーカーからの確かな関心を背景とした、食料品業界を革新する野心的な仕事を成し遂げるのに必要な前提条件を備えています。

4 年を超える食料品業界での実績があります。 INS は 2013 年以降オンライン食料品業界で知識と経験を培ってきた、オンライン食料品業界のベテランにより構築されています。当社はメーカー各社と強力な関係を築き、消費者から貴重なフィードバックを得てきました。

大小を問わず、様々な日用品メーカーがINSに対して、強い興味を示しています。



2. はじめに

2.1. 食料品市場の課題

小売業者による購買力の乱用

グローバル食料品業界は、大手小売チェーンによって支配されています。多くの国の食料品市場では、いくつかの小売業者が国家レベルで大きなシェアを獲得しています。一定の購買力は妥当なものであり、競争上の有意性を確保する上では単純に望ましいものではありますが、あまりにも集中してしまうとサプライチェーン内に購買力の不均衡を引き起こす原因となります。

乱用するのでなければ、購買力を行使することは自然なことです。あらゆる業界の参加者が、より良い価格交渉を行うためのツールとしてより大きな量での取引を模索することは理解できます。しかし、小売業者は公平という越えてはならない一線を越えてしまいました。食料品小売業者はすでに搾取されているメーカーから絶えず積極的によりよい条件を引き出しており、これは規模の経済を達成したプレイヤーが受けるべき利益をはるかに超えるものです。

規模の大小を問わず、十分な権力を持つメーカーは存在しません。Procter & Gamble、Nestle、Unileverなどの世界的なメーカーは、業界内で重要な役割を果たしており、小規模なメーカーに比べてより大きな交渉力を持っています。それにもかかわらず、これらの企業はサプライチェーン全体のエンドカスタマーに関しては、小売業者が持っているような大規模な支配力には太刀打ちできません。たとえば、ウォルマートの売上高は最大のサプライヤーである Procter & Gamble の約 5 倍です。⁵ウォルマートからの売上は 2016 年の Procter & Gamble の売上高の 16 % を占めました。⁶

小売業者のバイヤーによる権力の乱用は、通常の圧力の範疇を超えています。この圧力は、購買力の乱用によって説明できます。そのような購買力によって小売業者は、ストックする商品、および調達元、数量、品質、配送スケジュール、パッケージング、返品ポリシーなどの条件、特に価格と支払い条件を決定することができます。実際、スーパーマーケット企業は単一または複数製品の販売停止にちらつかせるという、交渉を有利に導くための重大な切り札を持っています。

⁵ 出典: [MIT Sloan Review, Rebuilding the Relationship Between Manufacturers and Retailers \(メーカーおよび小売業者間の関係再構築\)](#) (2013)。

⁶ 出典: [Procter & Gamble 年次報告書](#) (2017)。

小売業者による権力乱用の証拠としては - たとえば、大手小売業者がコスト差を超える価格優位性を享受していることを英国の競争委員会が指摘したことが挙げられます。さらに小売販売が行っている不合理な行為としては、契約条件を超えたメーカーへの支払い滞納、通知後 3 日以内での数量や製品品質の仕様変更、メーカーへの報酬未払いが挙げられます。⁷ 以下の図では、さまざまな報道機関で取り上げられた小売業者による購買力の乱用と行動規範遵守の欠如を具体的に示す証拠を掲載しています。

小売業者の権力乱用と行動規範遵守の欠如を示す最近の報道

The Telegraph

「スーパーマーケットは農家への理不尽な対応に対して巨額の罰金を払う必要があるかもしれない」
- The Telegraph
スーパーマーケットは価格に関して契約で合意した後に、非合理的に価格を変更することで非難されています。

theguardian

「Tescoのサプライヤーは小売業者は食料品業界の慣習を一切守らないと話す」
- The Guardian
Tescoのサプライヤーのうち30%はイギリス最大のスーパーマーケットはめったに食料品業界の慣習を守らないと語っています。

ABC NEWS

「ACCCは、スーパーマーケットの行動規範に関するウールワースとアルディの "幸先が良くない、立ち上がり" に関する申し立てについて調査している」 - ABC News (オーストラリア)
ウールワースとアルディが新しい食料品業界の行動規範の下で「良いスタートを切っていない」という疑念について、市場競争監視団が調査を進めている。この規範は、小売業者がサプライヤーと誠意をもって取引するために定められたものであり、農家と食料品メーカーから何年にもわたって寄せられていた小売業者による不当な扱いに関する苦情に対応するもの。

INS は、食料品メーカーが小売業者や卸売業者をバイパスし、消費者向けに自社製品の直接販売や販売促進を行うことを支援します。

⁷ 出典: Gordon Mills、Buyer Power of Supermarkets（スーパーマーケットの購買力）。

サプライチェーンの非効率性

生産地と消費の大きな隔たり。米国では、食材が農場から家庭に届くまで平均約 2,500km移動しています。⁸この問題は多くの国に関係し、急激に長期的かつ重大な財政的および生態学的悪影響をもたらしています。食料生産地から最終消費地または購入地までの輸送距離であるフードマイルは、バイヤーが国内の他の地域、地方、または世界から食料を輸入することで大幅に増加します。⁹

サプライチェーンのさまざまな分野における廃棄物。物流センターや食料品店の棚では食料品が無駄にされています。毎晩、一部の生鮮品は廃棄しなければなりません。最近の調査によると、スーパーマーケットでは4億ポンドの食品が提供されていますが、そのうちの3分の1が毎年廃棄されています。¹⁰残念ながら、現在の小売システムは食品廃棄物の測定および管理を行うのではなく、在庫切れを減らすような設計が行われています。そのため、管理者は食品が棚に残されるようにサプライチェーンの最適化を行います。¹¹

INS はフードマイルを減らし、消費者が農家を含む地元メーカーに一切妨害されることなくアクセスできるようにします。INS は、在庫や在庫切れを削減し、食品廃棄物を減らすような効果的な「プル」システムを実装しています。

トレードプロモーションは非効率、高コスト、かつ時代遅れ

食品メーカーはトレードプロモーションのために、自社の売上の最大17%を費やしています。トレードプロモーションは、消費者ではなく卸売業者および小売業者のためにメーカーが支出を増やしている分野です。メーカーは毎年トレードプロモーションに5,000億ドル以上を費やしており¹²、一部のレポートによれば、その費用の66%が効果がなく、ただ食料品の価格上昇を招いています。

INSはよりパーソナライズされた、直接的かつ効率的なマーケティングによって、トレードプロモーションを置き換え、食料品価格を下げ、メーカーと消費者間の効果的で直接的な交流を促進することを目標としています。

⁸ 出典: CUESA、[How Far Does Your Food Travel to Get to Your Plate? \(食料品はあなたのお皿に届くまでどれだけの距離を移動するのか?\)](#)。

⁹ 出典: NRDC、[Food miles: How far your food travels has serious consequences for your health and the climate \(フードマイル: 食料品の移動距離が健康と環境に及ぼす深刻な影響\)](#) (2007)。

¹⁰ 出典: NPR、[Supermarkets Waste Tons Of Food As They Woo Shoppers \(買い物客の誘致に必死なスーパーマーケットは大量の食品を廃棄する\)](#) (2014)。

¹¹ 出典: ReFED、[Inventory Management Challenges \(在庫管理の課題\)](#)。

¹² 出典: ボストン・コンサルティンググループ、見積 (2012)。

2.2. 創設者の経歴

INSのチームは、食料品業界初の実践的な事業として、ロシア最大のベンチャー支援食料品納入業者である Instamart を開発し、成長させました。Instamart は 200 人以上の従業員を擁して、ロシア最大の小売業者と契約を締結し、大手食料品メーカーと連携して営業を行っています。

食料品小売業における 4 年間の営業経験は、現在の業界構造における主な非効率性と権力の濫用という問題を特定するのに役立ちました。弊社はメーカーと消費者を直接つなぐ、分散型の公正なエコシステムを構築することによって、グローバル食料品小売市場に革命をもたらす大きな機会を見出しています。

Instamart の顧客は、一部の一流国際企業と主に中流層の個人から構成されています。

Instamart の法人顧客



Instamart で活躍中のスタッフ



Instamart は、世界最大の多国籍日用消費財メーカーを含むメーカーとの直接的な関係を構築しました。同社は、広告バナー、スポンサード・デリバリー、トラフィックジェネレーション、サンプリング、および共同ブランドのパッケージングなどの、ブランドと消費者の間の直接的なコミュニケーションを目的としたマーケティングプロジェクトを開始しました。

日用消費財取引先の選択



Instamartは、技術と食料品業界で優れた実績を持つ、最も経験豊富な投資家が参加しています。

投資家一覧



伝説の投資家 Yuri Milner によって設立された Mail.ru グループは、東欧最大規模のインターネット会社であり、世界第 7 位のページビューを誇る企業です。Mail.ru グループはソーシャルネットワーク（VK、Odnoklassniki）、ゲーム（Armored Warfare、Skyforge、Perfect World）、地図サービス（Maps.me）、カーシェアリング（BeepCar）、および食料品デリバリー（Delivery Club）を所有しています。

LEV KHASIS



X5RETAILGROUP



ロシア最大のリテール銀行であるロシア連邦貯蓄銀行の最初の副CEOであり、リテール部門での素晴らしい経験を持っています。

- ロシア最大の食料品小売チェーンであるX5リテールグループの CEO（2006 年～ 2013 年）
- Wal-Mart 上級副会長（2011 年～2013 年）
- Jet.com（2016年にウォルマート社により 30 億ドルで買収）副会長
- Boxed.com 取締役
- LendingHome.com 取締役

SERGEY SOLONIN



決済サービスと銀行業界で20年以上の経験を持つ起業家。

ロシアおよび CIS 諸国で 100 億ドル以上の売上高を誇る次世代決済サービスの大手プロバイダーである Qiwi グループの創業者兼 CEO

ILYA YAKUBSON



リテールスペースの最高幹部の1人。「小売部門における今年の人 2015」に選出される。

ロシア国内第4位の食料品小売チェーンであるDixy社の前 CEO（2009 年～ 2015 年）。

3. 市場の概要

3.1. グローバル食料品市場

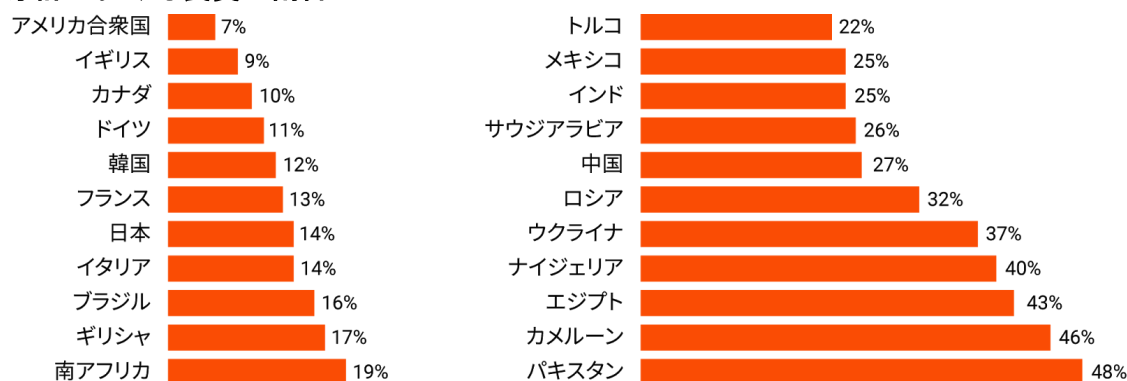
- ❖ 世界最大の消費市場の一つである食料品市場は、2020 年までに8.5 兆ドルに達し、一般消費者の家計の 50%を占めると予想されています。
- ❖ 食料品小売業者は、多くの国で寡占状態を獲得しています。多くの国で、最大で市場の 90 %までが小売業者に支配されています。
- ❖ 食料品業界はデジタル化への転換点に達しており、その成長の大半はオンライン市場に由来するものになると予想されています。

広範な影響を持つ非常に大きな市場

世界の食料品市場は、2016 年から 2020 年にかけて毎年 6.1 %成長し、2020 年には約 8.5 兆ドルに達すると予測されています。¹³ 食料品市場は安定した市場であり、景気の良い時にも不景気の時にも食料品に対する需要は常に存在します。

小売業の最大のセグメントの1つであり、消費者の家計のかなりの部分を占めているこの業界は、食料品業界の利害関係者、特にメーカーと消費者に深い影響を与えています。消費者への影響の一例として、下の図にさまざまな国の消費者の家計支出の一部を示しています。

家計における食費の割合¹⁴



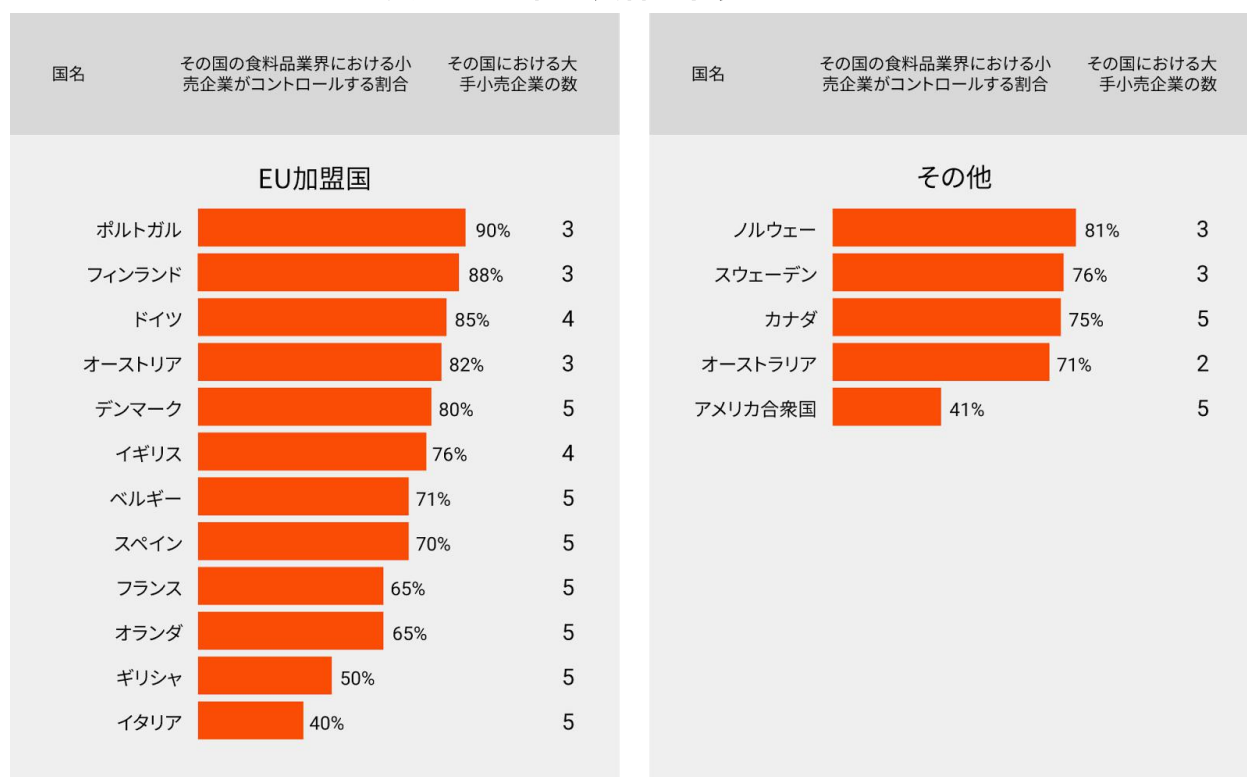
¹³ 出典: Persistence Research、[Food Retail Market Will Reach \\$8,541.9 Billion Globally in 2020 \(食品小売市場は 2020 年に世界規模で 8 兆 5,419 億ドルを達成\)](#) (2014)。

¹⁴ 出典: 米国農務省、[Economic Research Service \(経済研究サービス\)](#) (2012)。

高度な市場集中による価格上昇

食料品小売市場の寡占は世界的な潮流となっています。市場では、一流の食料品小売企業が非常に高いシェアを占めています。たとえば、ポルトガルでは食料品市場の90 %は国内トップの3つの小売業者によって支配されています。市場の寡占が進むにつれて、競争が弱くなり、食料品の価格は上昇します。

トップ小売チェーンによって支配された国の食料品市場シェア¹⁵



¹⁵ 出典: 国際消費者機構、Planet Retail、Nielsen.

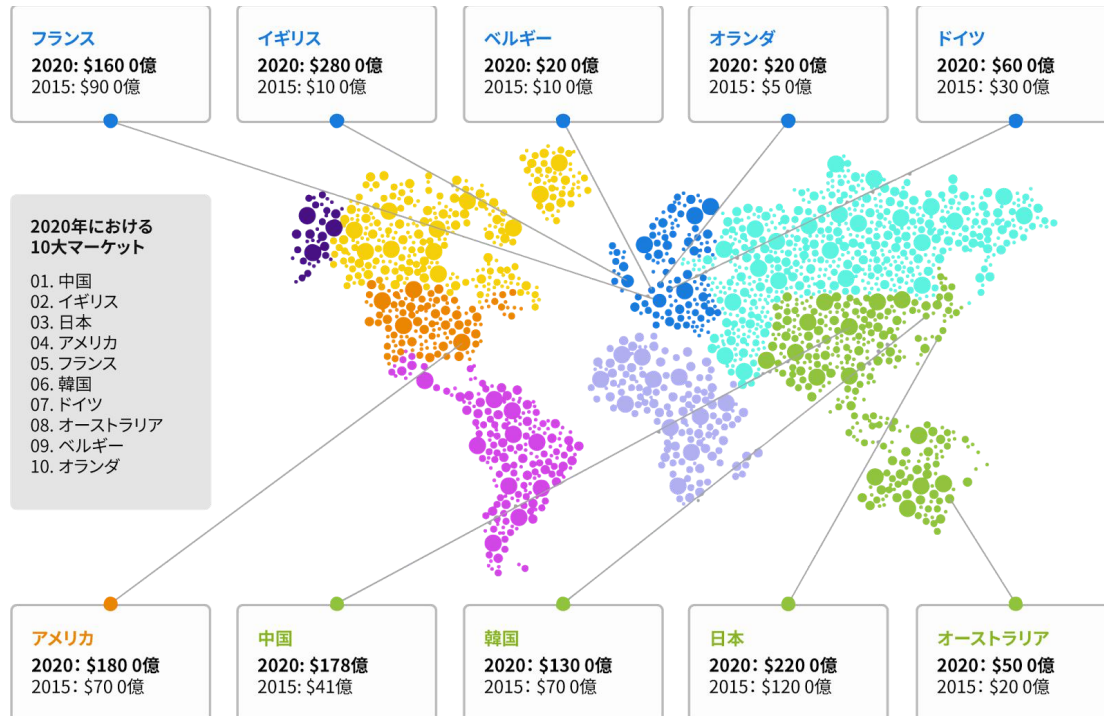
3.2. オンライン食料品市場

- ❖ INS のターゲットセグメントであるオンライン食料品店の市場規模は 2015 年には 980 億ドルでしたが 2020 年には 2,900 億ドルまで成長すると予想されています。
- ❖ 食料品は、急速にオンライン化が進行している最後の主要消費者市場であり、この移行をリードする人々に多大な機会を提供します。
- ❖ INS は、オンライン食料雑貨品部門をリードするための十分な機能を備えており、より安価な価格、より高い利便性、より高い品質、およびメーカー独自の直接報酬といった主な消費者からの要求に取り組んでいます。

オンライン食料品分野は爆発的に成長します

世界のオンライン食料品市場は 2016 年には 16 %成長しました。IGDは、最大規模の市場における 2020年までのオンライン食料品の年間成長率を 2 桁の数字で予測しています。世界の上位 10 市場だけで、2015 年には 980 億ドルであったものが 2020 年には 2,900 億ドルまで爆発的に成長するものと予想されています。¹⁶

世界の上位 10 オンライン食料品市場と 2020 年までの予測¹⁷



¹⁶ 出典: IGD、[Top 10 Online Global Grocery Markets and Forecast \(オンライングローバル食料品市場上位 10 市場と予測\)](#) (2015)。

¹⁷ 同書。

需要と供給の促進要因

消費者はますます時間が足りなくなってきました。オンライン食料品小売業の急速な成長は、消費者の人口統計プロファイル、働く女性の増加、高速インターネットへのアクセス、スマートフォン使用率の上昇、利便性の向上などのさまざまな要因に影響を与える可能性があります。従来型店舗での食料品を購入することは、特に都市部を中心とした慌ただしい生活ではより面倒なものになってきています。さらに、買い手の購入前に食べ物や食料品に触れて見たいと偏見が弱まってきています。時間に余裕のない消費者は、利便性を高め、時間を節約できるような選択肢を求めています。オンラインでの食料品購入はまさにその要求に応えており、消費者セグメント分野全体で人気が高まっています。

需要の促進要因

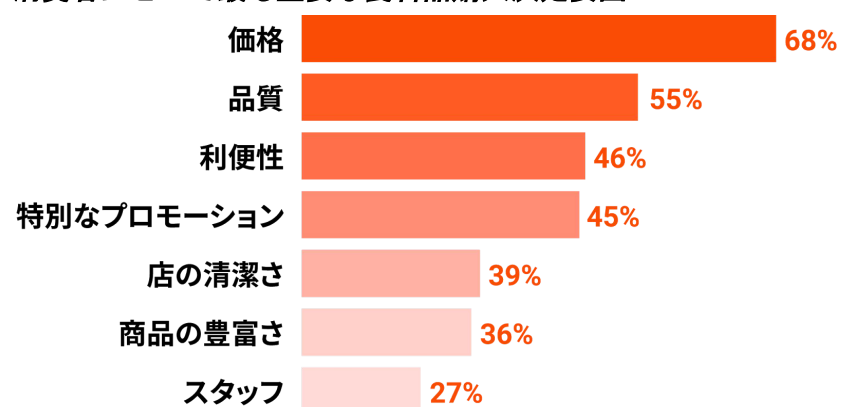
- オンデマンド経済への期待
- 大都市での時間に追われた生活様式
- 交通事情の悪化
- スマートフォンの利用拡大
- 大都会での中流層の増加

供給の促進要因

- モバイルテクノロジーの出現
- 自動化されたフルフィルメントソリューション
- 必要な設備投資を抑えた新しい市場モデルの搭乗
- 手頃な価格で迅速な配達を実現するクラウドソーシングの発展

価格、製品品質、利便性、特別プロモーションは、消費者行動に影響を与える最も重要な要因です。¹⁸

消費者にとって最も重要な食料品購入決定要因¹⁹



INS によって消費者は安価で高品質な食料品を購入し、製造業者から直接報酬を受け取ることができるようになり、消費者は結果として必要な時にすぐ食料品をオンラインで購入できるようになる。

¹⁸ 出典: Nielsen、[The Future of Grocery \(食料雑貨の未来\)](#) (2015)。

¹⁹ 同書。世界平均。

4. INS エコシステム

4.1. 概要

INSエコシステムは消費者がメーカーから直接商品を購入できる世界初の分散型食料品マーケットプレイスを目指します。INSエコシステムによって、低価格で高品質の商品を手に入れることができ、ダイレクトプロモーションによって支出を抑えることができます。メーカーは直接消費者と交流することができるようになります。

顧客のメリット - INS と現状の競合の比較

	INS	実店舗	Amazon Fresh	Instacart	その他 オンライン食 料品デリバ ー企業
価格	✓✓✓	✓✓	✓✓	✓	✓
品質	✓✓✓	✓✓	✓✓✓	✓✓	✓
便利さ	✓✓✓	✓✓	✓✓✓	✓✓✓	✓✓
メーカーによる プロモーション	✓✓✓	✓	✓	✓	✓
品揃え	✓✓✓	✓	✓✓	✓✓	✓

INS Ecosystem株式会社は、英領バージン諸島に 企業（以下「INS」と記載）として設立され、INS トークン、プラットフォームおよび技術を作成します。INS は、INS エコシステムでの運用が可能なオープンソースの暗号技術のリリースに重点を置いています。

疑義を避けるため、INS トークンは、トークン所有者に INS の所有権またはその他の利益を与えることはありません。トークン保有者は、配当、収益分配、議決権を受け取る一切の権利を保障されません。

エコシステムの参加者になるため、ユーザーは INS プラットフォーム上にアカウントを作成します。登録の際、システムがユーザープロフィールとウォレットを作成します。エコシステム

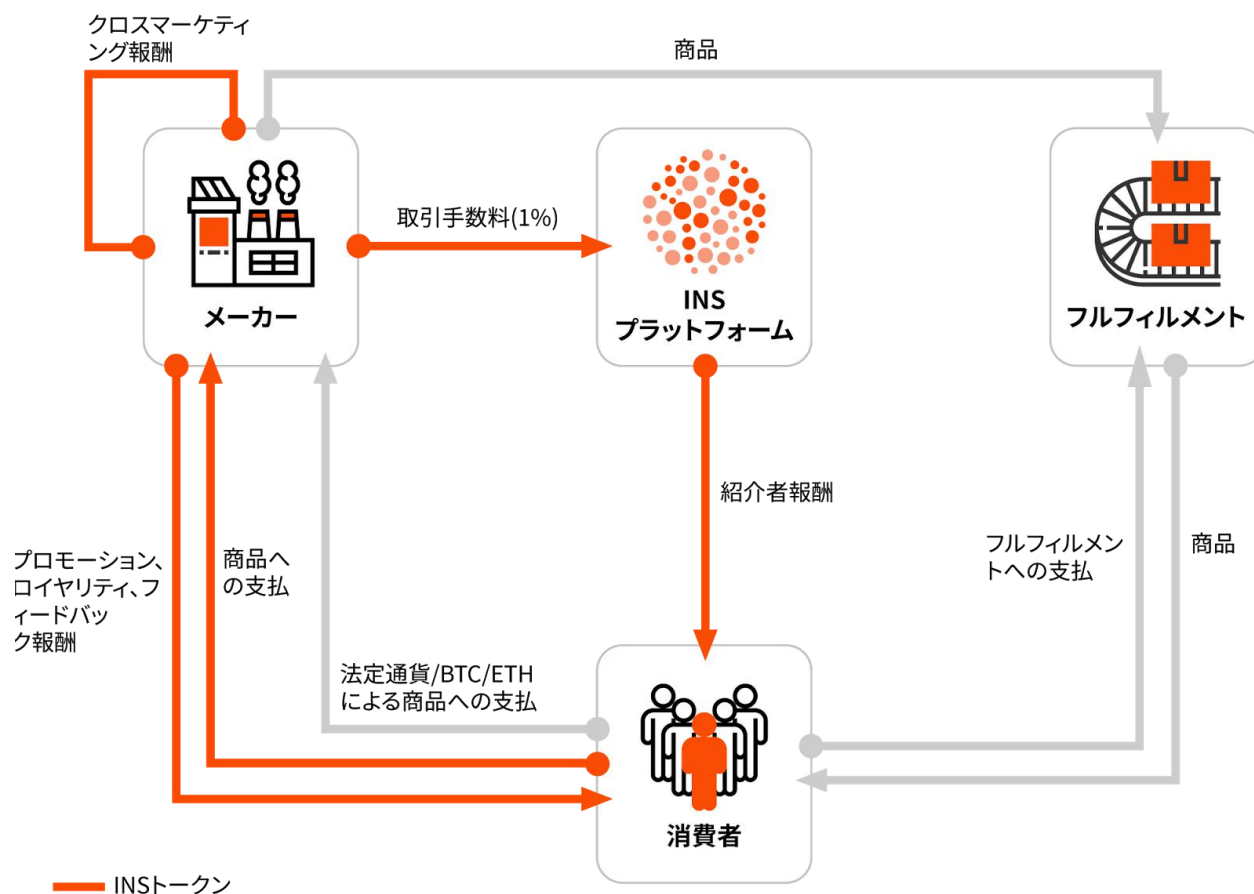
の各参加者には、分散データベースにすべてのデータを保持し、スマートコントラクトを利用してその他の当事者とのやり取りを行うウォレットが提供されます。弊社は仮想通貨取引所にINSTトークンを上場し、（デジタルトークンの購入が地域の法律に違反していない国の住民に対して）購入できるようにします。

4.2. エコシステムの参加者

INSエコシステムは、長期的な安定性と持続可能性を保証する、スケーラブルで分散的なアプローチに従って構築される予定です。

本エコシステムには以下の参加者が参加し、次の図に示すように参加します。

- プラットフォーム
- 消費者
- メーカー
- フルフィルメント（フルフィルメントセンター事業者と労働者、宅配便）



プラットフォーム

INSプラットフォームは、メーカーが参加して製品を販売し、プロモーションとロイヤリティキャンペーンを実施し、消費者からのフィードバックを得ることができる分散型のマーケットです。消費者はこれらの製品を注文することができ、発注から納品までのプロセスが容易になります。

INS の役割は次のとおりです。

- 資金調達と拡張のための INS トークンの作成とトークンの立ち上げ
- 注文を履行するための分散化された、公平かつ安全なモデルの確立
- 注文の決済とフルフィルメントプロセスを実行するスマートコントラクトの開発
- 顧客向けウェブサイトとアプリ、フルフィルメントセンターの労働者と宅配業者向けフルフィルメントアプリ、メーカーおよびフルフィルメントセンター運営者向けのウェブインターフェイスのリリース
- すべての当事者が INS エコシステムに参加するための効果的なインセンティブモデルの作成
- 初期段階で牽引力を発揮する積極的なマーケティングキャンペーンの開発
- エコシステムの規制面の整備

メーカー

メーカーは、生鮮食品、食料品、家庭用消耗品ビジネスにおける企業または個人です。メーカーには Procter & Gamble、Unilever、Coca-Cola などのような大規模な多国籍企業から地元の農家までさまざまです。

メーカーの役割は次のとおりです。

- 製品の公開
- 消費者が注文した製品をフルフィルメントセンターに納品します。
- 作成されたアプリケーションのプロモーションを介してトラフィックを届けることで、INS エコシステムを推進します。

消費者

消費者は、オンラインで高品質な食料品をより安い価格で購入したいと考えている個人または企業です。注文は、INSウェブサイト、INS アプリ、または製造元がプラットフォーム上で作成したカスタムアプリを介して行うことができます。

消費者の役割は次のとおりです。

- メーカーによって掲載された製品を検索し、発注して支払いを行います。
- フィードバックリクエストへ参加します。
- プロモーション、ロイヤリティ、紹介、フィードバック報酬を受け取ります。

フルフィルメント

フルフィルメントセンター運営者

フルフィルメントセンター運営者は、既存の倉庫設備や配送車両の所有者または借主です。フルフィルメントセンター運営者は、メーカーによって納品された製品を労働者が受け取り、注文品を組み立てるスペースを提供します。

INSは地理的な拡大を加速するために、独立したフルフィルメントセンター運営者にエコシステムに参加してもらえるように取り組みます。

フルフィルメントセンターの労働者

フルフィルメントセンター運営者により採用された、または独立した請負業者として働くフルフィルメントセンターの労働者は、INS のフルフィルメントアプリケーション経由で受信した以下の指示に従います。

- メーカーからフルフィルメントセンターに出荷された製品を集めます。
- 注文された製品を組み立てます。
- 組み立てた注文品を宅配業者に渡します。

INS は独立系労働者を誘致し、本エコシステムに参加させるように努めます。

宅配業者

宅配会社により採用された宅配業者は、INSのフルフィルメントアプリケーション経由で受信した以下の指示に従います。

- フルフィルメントセンターからの注文品の集荷

- 消費者への注文品の配送

INS は独立系の宅配業者を誘致し、本エコシステムに参加させるように努めます。

4.3. ブロックチェーンおよびスマートコントラクト

ブロックチェーンは共有データベース技術であり、主にビットコインのデジタル通貨の基盤として普及しているものです。これは、デジタル台帳を絶え間なく更新するデータベースとリンクして動作します。

スマートコントラクトは自己実行型の契約であり、買い手と売り手の間の契約条項はコード内に直接書き込まれます。そこに含まれるコードと契約は、分散型ブロックチェーンネットワーク全体に存在します。スマートコントラクトは、中央当局、法的制度、または外部の施行メカニズムを必要とせず、匿名でさまざまな関係者と信頼できる取引と契約を実行することを可能にします。スマートコントラクトは追跡可能かつ透過的であり、不可逆的です。

INS プラットフォームは非常に負荷の高いシステムとして設計されています。INSエコシステムマーケットでは、何十億人ものユーザーがそれぞれ年間数十件の注文を行うと予想しています。主に注力するのはスマートコントラクトの性能で、スマートコントラクトのサポート、予測可能性、安定性、使いやすさを追求しています。 弊社は、最も実績があり、スケーラブルなオープンソース技術を使用し、代替技術による実装について絶えず注視する予定です。

Ethereum のような既存のブロックチェーンプラットフォームにはトランザクション帯域幅に固有の制限（現時点では 1 秒あたり 12 件に制限されている）があり、将来のプラットフォームやフレームワークは開発段階に過ぎないため、弊社は将来的に独自の INS ブロックチェーンプラットフォームの設計や開発を行うことも検討しています。そこでは幾分か信頼できるサポーターからノードを選択する予定です。ノードへの信頼を考えた場合、BFTファミリー（HoneyBadgerBFT / Zyzzyva / その他）より高速なコンセンサスアルゴリズムの一つを実装し、1 秒あたり最大数千のトランザクションを実現する予定です。コンセンサスアルゴリズムに加え、スマートコントラクトの仮想マシンが実行されます。INSブロックチェーンの状態は、最も一般的なスマートコントラクト元帳（少なくともETH）に定期的に固定され、状態証明（Proof of State）と取引証明（Proof of Transaction、INS 内）が Ethereum スマートコントラクトによって検証されるようになります（現在 BTCRelay で実施済み、または将来的に Plasma で実施予定されているように）。ステートシャーディングや決済チャネルなどの一般的な最適化手法も実装されます。

INSにおけるブロックチェーンアプリケーション

- スマートコントラクト
- 決済
- サプライチェーンマネジメント

スマートコントラクト

ブロックチェーンとスマートコントラクトは、中央集権型の仲介者を必要とせず、需給サイドがさまざまなビジネスルールに従って信頼性の高い取引を行うことのできる、新世代のマーケットを創出するためのツールとフレームワークを提供します。その結果、オンラインマーケットが従来型の多くの時代遅れのビジネスモデルに革命を起こしたのと同じように、ブロックチェーンとスマートコントラクトは、現在のビジネスを揺るがす新しい個人間取引市場を生み出します。

INSは、販売メカニズムを促進するために使用できる複数のスマートコントラクトのテンプレートを提供します。個人間での取引を行う構造は、INS エコシステムの分散的な性質に完全に適合しており、エコシステムの参加者に権力を取り戻すことができるというメリットがあります。

決済

現在、eコマースの決済処理では、取引の決済に 10 段階以上の手順と、決済ゲートウェイへの支払いに最大 15 種類の別々の手数料が必要とされているため、取引手数料は 2 %から 6 %の間で変動しています。ブロックチェーンを使用することで、このような長い手続きを短縮できる可能性があります。ブロックチェーンは、eコマースの効率性と信頼性を高めるのに最適なツールです。ブロックチェーンによる決済処理によって、取引の高速化と低価格化の可能性が大幅に高まりました。スマートコントラクトでは、eコマースと決済の両方を改善することができます。トークン化された元帳は、事前定義されたルールおよびイベントに基づき、さまざまな時間やさまざまな理由でトークンの送信や交換が行われる「実在の」お金に似た、完全なトークンベースのシステムを提供します。

サプライチェーンマネジメント

eコマース企業は、製造業者、サードパーティーのベンダー、通信事業者、物流業者から成る複雑なサプライチェーンを管理しなければなりません。注文情報と合意金額および手数料（スマートコントラクト形式）を含むトランザクションのブロックチェーンは、文書、納品、および予想される返品イベントを収集し、紛争の機会を減らしつつ金銭的解決を推進するために使用されます。ブロックチェーンレコードの公開-非公開の性質によって、各当事者は他者にデータを開示することができます。すべての関係者はトランザクションを把握しており、関係者間で個別に交渉を行うために連絡を取り合う必要はありません（ブロックチェーン同士のみで結ばれます）。

ブロックチェーンは、トランザクション全体の記録システムです。単にトランザクションを記録するのではなく、プロセス全体を推進します。これにより、今日の取引で悩まされている時間遅延、コストの増加、人的ミスを減らすことができ、在庫管理を自動化し、履行プロセスを合理化することもできますが、食料品はデジタルではないため、ある程度のエラーが発生する可能性があります。それはブロックチェーンに必然的に事後処理で記録されることになります。

5. INS プラットフォーム

5.1. 主要コンポーネントとプロセス

製品

消費者市場において製品は、そのコアを担う基本的な要素です。簡潔性と利便性を確保するため、INSプラットフォーム上の製品には、注文する商品を見つけて選びやすくするために名前、カテゴリ、数量、価格、説明、原料などの複数の定義されたパラメーターが要求されます。

ご注文

消費者は購入する商品を選択し、配送情報を指定し、法定通貨、BTC、ETH または INS トークンで支払いを済ませます。一般消費者は決済方法に応じて、さまざまな価格や特典を利用することができます。

決済方法	料金	報酬へのアクセス
法定通貨	一般価格 + 2 ~ 3 % のカード手数料	制限あり
BTC、ETH	一般価格 + 手数料（例：Ethereum ガス価格）	制限あり
INS トークン	一般価格 + ほぼ0%の取引手数料	全て

消費者は、INS公式ウェブサイト、公式アプリ、または特定のメーカーがリリースしたサードパーティアプリを使用して製品を注文することができます。

製品の検索

分散ファイルストレージネットワーク（IPFS から Storj までさまざまなオプションを提供）が、メーカーがリストアップした製品の最新データベースを維持するために使用されています。消費者は並び替えやフィルタを適用して購入したいものを選ぶことができます。メーカー

はリファレンス実装を元に作成した独自のアプリを配布し、製品の特定の並び替え方法やフィルタを選択することができます。

オンラインショッピングを経験した消費者の68 %はより良いオンラインショッピング体験（迅速、簡単、便利、楽しい）を得るため、普段使う食料品店を乗り換える可能性が高いと言っています²⁰。消費者にとって、数万種類にものぼる製品をオンラインで閲覧することは非常に困難な場合があるため、できるだけ簡単に好きな商品を見つけることができるようにします。たとえば、「地場産」「グルテンフリー」「オーガニック」「セール中」などの商品属性のカテゴリフィルターを提供する予定です。



弊社は、消費者の皆様一人一人がオーダーメイドだと感じられるようなホームページを実現することからパーソナライズに着手します。消費者は過去の注文情報を見て、最も頻繁に購入した商品にアクセスすることができ、ショッピングの履歴に基づいて関連する商品や特売品が表示されます。個別のパーソナライズは、検索結果、各部門のトップに表示される製品、カート内のおすすめ製品、および毎日または毎週のオファーにまで及ぶことになるでしょう。

報酬

今日の消費者が買い物をする場所の選択肢はたくさんあり、売り手はリピート客を獲得するために懸命な必要があります。報酬と割引プログラムは、特に競争の激しい食料品市場において顧客をリピーターにする動機を提供します。INSエコシステムでは、メーカーはスマートコントラクトに任意のロジックを適用して、ニーズに応じた特典プログラムを作成することができます。

ロイヤリティ

ロイヤリティ報奨制度は、メーカーがファンとなってくれている顧客に報酬を与える目的でのロイヤルティプログラムを簡単に設定するための最適な手段の一つです。支払いはスマートコントラクトによって処理され、消費者が報酬の対象となることを証明することができます。メーカーは、報酬の種類、有効期限、報酬の使用対象となる製品目録、金額などのルールを設定します。ロイヤルティ報奨制度は、メーカーから報奨金を受け取り、その報奨金を消費者のウォレットにリンクされた適格性証明書を提供する対象者に配布するスマートコントラクトにコーディングされています。

²⁰ 出典: UNATA (2016)。

プロモーション

自動化されたプロモーション報奨制度は、消費者に最初の注文を促すために作られています。プロモーション報奨制度は、スマートコントラクトでコード化されています。スマートコントラクトでは、メーカーはルール（有効期限、製品目録、顧客パラメーターなど）や限られた時間内で事前定義された製品を購入する目的でのみ使用するためのトークンを預けます。

クロスマーケティング

クロスマーケティングの仕組みは、新しいオーディエンスに製品を宣伝し、より多くの売上を生み出す目的でメーカーによって使用されます。メーカーは、カスタムアプリケーションを作成して補完的な製品を販売し、お互いにクロスプロモーションを行うパートナーを見つけることができます。クロスマーケティング報酬ツールは、商品情報と報酬ルールが指定されたスマートコントラクトにコード化されます。クロスマーケティングの仕組みはメーカーにインセンティブを与え、他のメーカーとアプリトラフィックを共有し、消費者がより多くの商品を見つけられるよう支援することを目的としています。

紹介

INS は新しい顧客への紹介報酬としてこれらのトークンを使用し、INS エコシステムを普及させることを第一の目標として、トークン生成イベントの一環として INS 積立金を作成する予定です。

フィードバック

自社製品に関して顧客から直接的なフィードバックを受けようとするメーカーは、INSトークンを消費者にインセンティブとして与え、参加意欲を高めることができます。フィードバック報酬制度によって、特定のパラメーター式を設定し、製造業者がフィードバックを受けたい消費者のフォーカスグループを作成することが可能となります。顧客のデータはメーカーとは共有されず、当初は INS プラットフォーム上で一元的に処理されますが、消費者が身元を特定されずにフィードバックを提出できるよう、確実にプライバシーを保護するために後で分散化が行われます。

最低残高

メーカーはあらゆる種類の報酬の支払能力を保証するため、前月の売上の一部と同額のINSトークンを残高として保有することが求められます。メーカーは消費者から受け取ったトークンを保持することも、取引所でトークンを購入して要件を満たすこともできます。

評価スコア

評価システムは、取引先同士の信頼を確立するためには重要です。初期段階においては、評価スコアは製造業者と履行当事者に対して実施されますが、後に消費者も対象に含める可能性もあります。

弊社は評価点数を計算するためにスマートコントラクトをコード化し、次のセキュリティ要件を満たしながら消費者からのプライバシー保護の妥当性証明を受け入れる予定です。

- 透明性: 評価の計上方法は明確である必要があります。
- 正当性: 特定セットの参加者（すなわち、メーカーの顧客）のみが評価することができます。
- 整合性: 不可能ではないにしても、評価を操作することは難しくなければなりません。
- プライバシー: 料金を支払う消費者は、自分の身元やその他の個人情報を開示しません。

注文状況

すべてのスマートコントラクトは、ブロックチェーン外のデータを読み取る能力が制限されています。スマートコントラクトで外部データを処理する自然な方法は、コントラクトで署名を検証してデータを処理できるよう、チェーン外からの適切な参加者（オラクル）がデジタル署名したデータを送信することです。

注文状況のレポートは履行処理中に自動的に生成され、以下の署名による確認メッセージが含まれます。

- メーカー: 製品の供給依頼の受付と履行完了
- 労働者: フルフィルメントセンターへの製品の到着
- 労働者: 注文品の組立および配送準備の完了
- 宅配業者: 注文品の集荷
- 宅配業者: 注文品の納品
- 消費者: 注文品の受領

各参加者は秘密鍵を安全に暗号化してウォレットに格納します。ウォレットはプロセス全体が円滑になるように署名の作成と検証も行います。これらの状態がチェーン上に反映されると、そのデータをシステム内の他の参加者やさまざまなスマートコントラクトが利用できるようになります。

紛争解決

高い評価スコアを維持し、エコシステムの全参加者に誠実に行動するよう促すことで、大部分のケースでは紛争解決メカニズムは事実上不要となります。第三者による仲裁を必要とせず、紛争をできるだけ簡単に解決するための、紛争解決メカニズムを構築する予定です。紛争を解決できない場合は、INS の従業員が仲裁人としての役割を果たします。紛争の結果は、被告と原告の両方の評価スコアに影響を与える可能性があります。

個人データの安全性

個人情報の安全な取り扱いは、当社にとって非常に重要な課題です。ブロックチェーン内のデータは一般公開されるため、顧客名、住所、携帯電話番号、KYC（顧客確認）データ、文書などの情報は保管できません。エコシステム内のさまざまなエンティティの連携を実現するため、ブロックチェーンに対するアクセス権限は簡単に検証できるようにする予定です。実際の個人データや情報は INS が管理と保護を行っている集中ストレージに保存されます。分散化が進むにつれて、弊社が保管する個人データの量はどんどん少なくなっていく予定です。

セキュリティで保護されたストレージには、ユーザー名またはパスワードを必要とすることなく、以下の手法を使ってデータにアクセスできます。

- ストレージに保存されたデータは、ブロックチェーンアドレスなどのエンティティの公開識別子にリンクされます。
- データを取得したい関係者は、そのブロックチェーンアドレスに対応する秘密鍵でリクエストに署名して自分の身元を確認する必要があります。
- ストレージサービスはブロックチェーンからアクセス権限に関する情報を取得し、署名の有効性と要求者がデータにアクセスする権利を持っているかどうかをチェックします。
- チェックが成功した場合、データは要求者に返され、ブロックチェーン内に確認記録が作成されます。

5.2. 消費者およびメーカーのインセンティブ

メーカーにとってのインセンティブ

- 簡単に製品を注文されるように製品を公開します。
- 自社製品を公正な価格で提供し、正々堂々と他のメーカーと競争します。
- 自社ブランドに合わせた INS 公式アプリをカスタマイズし、消費者に宣伝してリピーターを増やして、クロスマーケティング報酬を獲得します。
- 高い評価スコアを維持し、より多くの消費者を誘致するような信頼性の高い方法でサービスを提供します。
- 消費者の獲得ならびに維持のため、魅力的なプロモーションとロイヤリティ報酬を提供します。
- 顧客からのフィードバックの獲得。

消費者にとってのインセンティブ

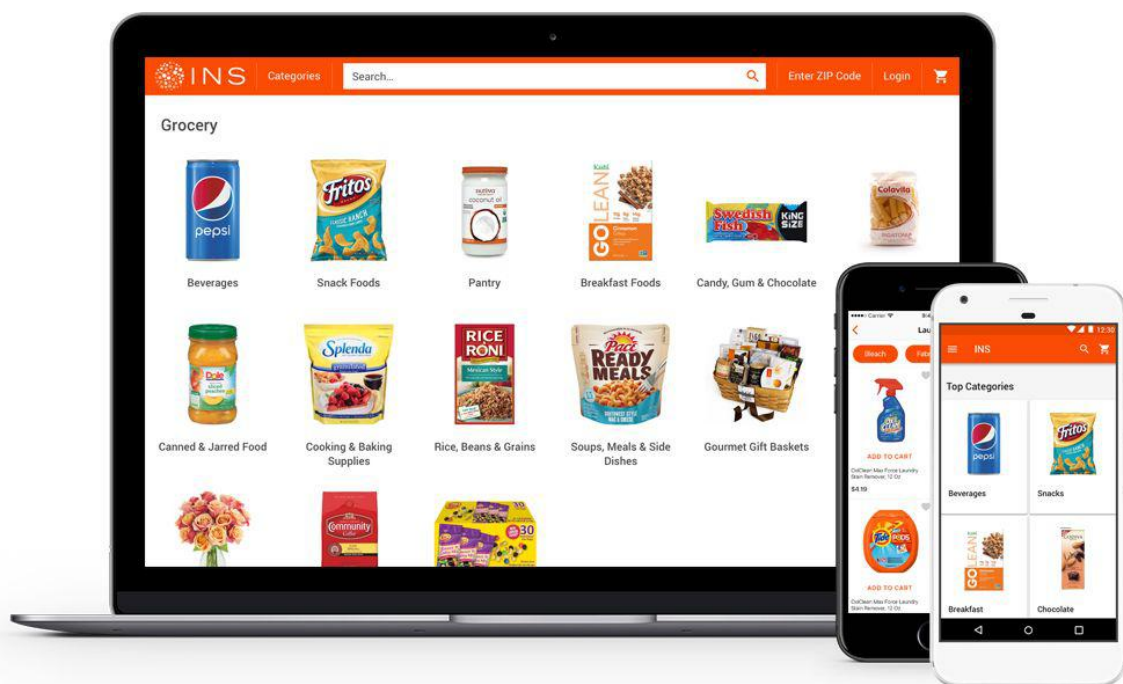
- 小売店よりも安価に食料品や消耗品を購入できます。

- オフラインショッピングで時間を費やすことなく、玄関先で注文品を受け取ることができます。
- メーカーに影響を与えるフィードバックを残すことができます。
- さまざまな種類の報酬を獲得できます。

6. アプリケーションとインターフェイス

弊社は消費者向けのウェブサイトとモバイルアプリケーション、およびその他のエコシステム参加者向けのモバイルアプリとウェブインターフェイスを開発し、公開する予定です。

消費者向けアプリケーションとウェブサイト



消費者は食料品を購入し、ウェブサイトやアプリでフィードバックを提供します。消費者向けの公式アプリはスマートコントラクトへのアクセスや分散型クラウドストレージからの製品へのアクセスなど、消費者用の機能を実装しています。

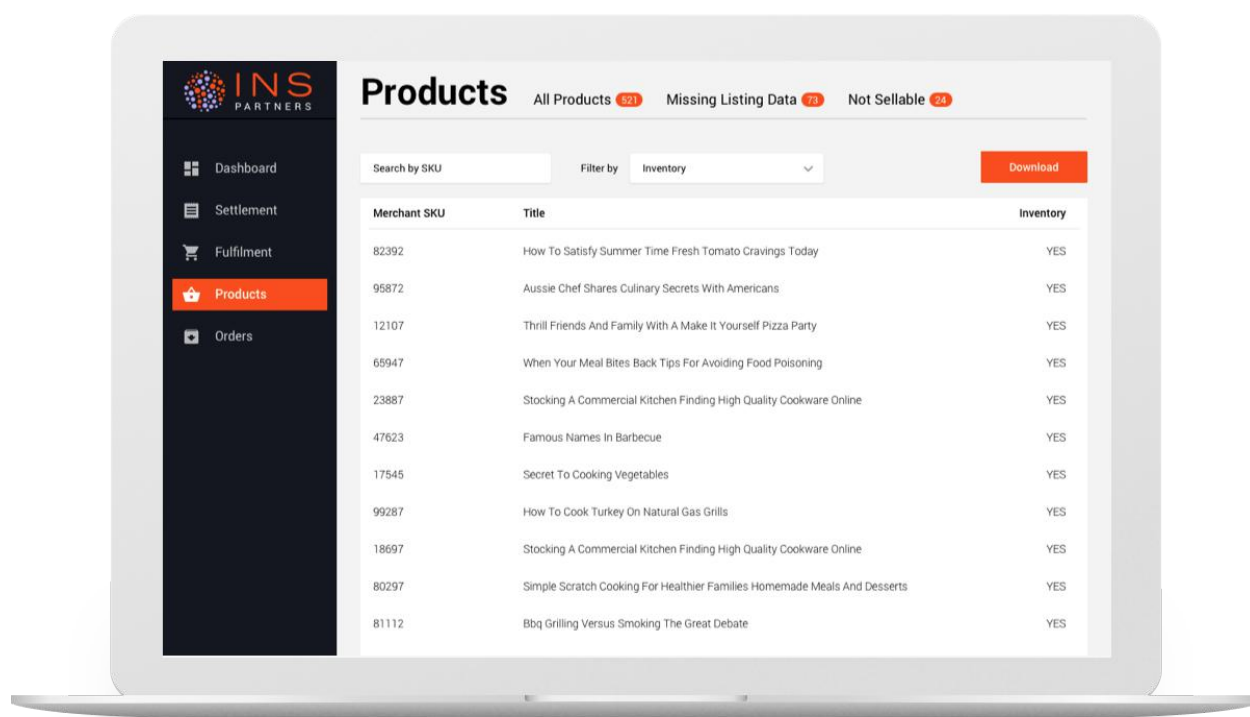
このアプリケーションは GitHub のオープンソースソフトウェアとして公開することで、正式なリファレンス実装として機能する予定です。メーカーは公式アプリを変更し、独自ブランド化

やカスタマイズを加えたアプリをリリースすることができます。弊社はチュートリアルとドキュメントを含むオープンソースのカスタマイズソフトウェア開発キット（SDK）を公開し、アプリケーションのカスタマイズプロセスをできるだけ簡略化する予定です。カスタマイズされたアプリは、INS プラットフォームのフォークしたものでも INS トークンをフォークしたものでもなく、同じネットワーク向けの別のクライアントとして実装されます。

フルフィルメントアプリケーション

フルフィルメントアプリは、フルフィルメントセンターの労働者と宅配業者が互いに連携できるようにスムーズな注文履行プロセスを提供します。フルフィルメントアプリケーションは、Google Play で公開される予定です。

メーカー向けウェブインターフェイス



メーカー向けウェブインターフェイスは、お手元の機器にインストールすることなくウェブブラウザ内で実行することができ、製品の一覧表示や編集、在庫管理の実行、配送オプションの設定、報酬ポリシーの設定など、すべての操作を実行できます。

フルフィルメントセンター運営者向けウェブインターフェイス

フルフィルメントセンター運営者向けのウェブインターフェイスは、お手元の機器にインストールすることなくウェブブラウザ内で実行することができ、倉庫保管料の設定、統計や収益報告書の受信が可能です。

7. ロードマップ

弊社のロードマップには、技術開発、運用インフラストラクチャの導入、パートナーシップの署名、マーケティング戦略の開始など、さまざまな側面があります。暫定的なロードマップを以下に示します。日程や活動内容は変更される場合があります。



7.1. 開発ロードマップ

弊社の目標は、低価格で日用品を購入しようとする消費者、および直接販売を行い、既存の小売チェーンから独立することを望むメーカーから成る活気あふれるエコシステムを維持することで、幅広いオーディエンスが使用する一流の分散型消費者市場を創出することです。弊社の主な役割は、プラットフォームの実行に必要なオープンソース技術を開発し、すべての参加者にインセンティブを与えるための成功したモデルを作成することです。

マイルストーン #1: プラットフォームの実装

最初のマイルストーンは、分散型 INS プラットフォームの実装です。弊社は常にプログラムに關してのコミュニティからのフィードバックを歓迎しており、プラットフォームを完全に安全かつ透明性の高いものにするため、継続的に改善計画を立てています。

ICO 期間終了後は寄付者全員が Ethereum ネットワーク上で EIP20 と互換性のある INS トークンを受け取ります。INS プラットフォームを独自のブロックチェーンプラットフォームや適切な選択肢の一覧から選択されるブロックチェーンプラットフォームで起動すると、そのプラットフォームに固有のトークンが展開されます。EIP20互換のINS トークンは、ネイティブの INS トークンと 1 対 1 で交換されます。

分散プラットフォームの主要部は、本文書の INS プラットフォームのセクションで説明されている動作を実行するスマートコントラクト一式として実装される予定です。

公式のスマートコントラクトは、GitHub にオープンソースソフトウェアとして公開され、以下の機能の実装が含まれる予定です。

- アドレス間のトークン交換などの基本機能
- 製品の公開
- フルフィルメントプロセスのレポート
- 報酬制度

マイルストーン #2: アプリケーションとウェブインターフェイスの開発

最初のマイルストーンはシステムのバックエンドに集中していますが、第 2 のマイルストーンはフロントエンドとエンドユーザーのエクスペリエンスに集中しています。

弊社は消費者向けウェブサイト、消費者向けアプリケーションのリファレンス実装、およびフルフィルメントアプリをリリースする予定です。React および React Nativeを使用してウェブとモバイル間のコードベースの大部分を共有する予定です。このアプリケーションには標準

オープンソースでの実装に基づいたシンククライアントが含まれているため、アプリケーションはINSプラットフォーム上のさまざまなスマートコントラクトと通信することができます。メーカーおよびフルフィルメントセンター運営者向けのウェブインターフェイスは、お手元の機器にインストールすることなくウェブブラウザ内で実行することができます。

マイルストーン #3: エコシステムの拡張

INSエコシステムを運用するために必要な技術の大部分で現状の規模での利用が可能となったら、主な焦点を開発から成長へとシフトします。ネットワークの成長へ投資を行うにあたっては、すべての開発が終わるのを待つ必要はないです。そのため、実行可能なバージョンのアプリと暫定リリースのインターフェイスが同時並行で利用可能になることが行われる予定です。ネットワークの成長には二面性があり、製造者と消費者の両方に依存しています。

メーカー

数多くの高品質なメーカーがエコシステムに参加すればするほど、INSエコシステムはそれらのメーカーからの恩恵を受けます。メーカーはエコシステムにおける製品の発売元かつ提供者であり、トラフィックを促進するエンジンとして機能します。メーカーはあらゆる種類の報酬プログラムを提供するためにINS トークンを消費します。すでにINSの考えを支持しているメーカーを含むメーカーを誘致するためのチャンネルには、メーカーとの直接接触、関連する会議やカンファレンスへの参加、メーカー団体とのパートナーシップ形成、エコシステムへの参加に関心のある新しいメーカーに指導と支援を提供し、可能な限りプロセスをシームレスにすることが含まれます。

消費者

積極的な消費者がネットワーク内に増えれば増えるほど売上高は増え、メーカーの利益もより大きくなるでしょう。売上高が多くなればなるほど、エコシステムの価値が高まります。消費者基盤を強化するためのチャンネルには、より広範なオーディエンスへの INS アプリとウェブサイトのマーケティングとプロモーション、および一般的なオンライン食料品配送の促進も含まれます。より多くの消費者を引き付けることは、成長のための唯一の手段ではありません。既存顧客との関係を改善することも同様に重要です。主力製品を継続的に改善することで、ネットワークにおける顧客維持力を高めることができます。

7.2. 地理的な展開計画

弊社は人口規模、所得水準、食料品市場の集中度に基づいて、展開する都市を選択する予定です。以下の地図に暫定的な対象都市のリストを示しています。内容はプロジェクトの進行に伴って変化する可能性があります。



INS創設者の過去の Instamart での経験は、プロジェクトの活性化に非常に役立っています。グローバルレベルでの普及を加速するために、独立系フルフィルメントセンターのオーナーに積極的に INS エコシステムへ参加してもらえるようにすることで、エコシステムの拡大を加速し、分散型という特質を強化する予定です。

8. INS トークン

8.1. 構造

ICO 期間終了後は寄付者全員が Ethereum ネットワーク上で EIP20 と交換可能な INS トークンを受け取ります。INS ブロックチェーンが独自のトークンメカニズムで起動されると、EIP20 トークンをいつでも新しいトークンと 1 対 1 で交換できるようになります。

INS トークンは INS エコシステムの基幹コンポーネントであり、トークンをエコシステムに不可欠な一部かつその経済の促進要因とするようなあらゆる種類の運用を容易にする設計が行われています。INS トークンは小数点以下に分割ことができ、移譲および代替可能です。

トークンの残高と送金はINSによって追跡されます。大規模な盗難、契約の侵害、または Ethereum プロトコルの混乱のような不可抗力の事態が発生した場合、INS はトークンの送金をフリーズし、特定の日付までに元のトークンが登録された時の残高に置き換えてトークンのコントラクトを発行することがあります。Ethereum がフォークした場合、INS はサポートするブランチを適切にアナウンスします。

INS Token Contract Address: [0x5b2e4a700dfbc560061e957edec8f6eeeb74a320](https://etherscan.io/address/0x5b2e4a700dfbc560061e957edec8f6eeeb74a320)

8.2. 用途

INSトークンは、INS エコシステム内であらゆる種類の報酬を処理するための唯一の取引手段、ならびに決済手段の 1 つになることが計画されています。INSトークンはパートナーサービスの決済方法として採用される予定です。

INS トークンの用途

メーカー

- 報酬: ロイヤリティ、プロモーション、クロスマーケティング、フィードバック
- 最低残高

消費者

- 注文の支払い

INS

- 消費者に対する紹介報酬

8.3. 普及

私たちの重要な目標の一つは、仮想通貨をほとんど経験しておらず、ブロックチェーンベースの技術についてほとんど知識がないと思われるオーディエンスへ分散型消費者市場を紹介することです。INSエコシステムは仮想通貨コミュニティを超えて拡大し、幅広いオーディエンスに対して重点的に活動する予定です。このようなオーディエンスにサービスを提供するには、食料品業界とその特性に関する完全な知識が必要です。

豊富な業界経験を有する当社のチームは、消費者が望むものを正確に把握しています。弊社は消費者が非常に簡単かつ直接的にINSトークンを購入・獲得・使用できるようにします。INSのウェブサイトやアプリケーションによって、複雑だった仮想通貨ウォレットの開設とメンテナンスはシームレスに行われるようになります。

9. トークンセール

9.1. 概要

開始日時: 午前 11:00 (GMT) 、2017 年 12 月 4 日 (日本時間2017年11月27日午後8時)

決済方法: BTC、ETH、LTC、DASH、USD (銀行振込)

目標: 60,000 ETH

ソフトキャップ: 20,000 ETH

ハードキャップ: 60,000 ETH

トークンの交換レート: 1 ETH = 300 INS トークン

合計トークン供給量 (最大) : 50,000,000

最低購入額: 0.1 ETH

ボーナス:

	寄付額		
	100 ETH 以上	10 ~ 100 ETH	10 ETH 未満
1日目	25%	22.5 %	20%
2 ~ 7 日目	20%	17.5 %	15%
第 2 週	10%	7.5 %	5%
第 3 ~ 4 週	0%	0%	0%

- 生成されるトークンの正確な数は、寄付された資金の金額によって決まります。
- ICO 期間終了後にトークンの作成、鑄造、マイニングが行われることはありません。
- トークンは ICO 完了後に譲渡できるようになります。
- 最低目標に達していない場合、資金は参加者に返金されます。
- 最高目標に達した場合は、ICO は直ちに終了します。

トークンの分配は、生成された INS トークンの数に比例して実施されます。

ICO 参加者	チーム	顧問、初期サポーター、報奨金	積立金
60%	15%	5%	20%
<ul style="list-style-type: none"> INSチームのトークンは2年間ロックされ、6か月に1回合計4回の権利確定機関があります。 アドバイザーと早期支援者のトークンは6か月間ロックされます。 積立金用のトークン配布は、2019年に始まり、2年間続きます。これは主に、より多くの人から注目を浴びて、新規顧客のINSエコシステムへの参加と促進を促すことを目的としています 			

報奨金および紹介キャンペーン

アクティビティ	報奨金プール* の %
BitcoinTalk の署名キャンペーン	30%
ブログ記事とビデオキャンペーン	20%
ソーシャルメディア (Facebook と Twitter)	20%
翻訳	15%
Telegram	2%
その他	13%

* 報奨金プールは 500,000 INS トークンです。詳細は BitcoinTalk <https://goo.gl/KNh4ZH> でご確認ください。

アクティビティ	購入したトークンの報酬率 (%)
紹介	5%

紹介者ボーナスは、その紹介リンクから購入した人の購入額の5%です。紹介リンクから購入した人は1%のボーナスを受け取ります。

ICO終了後、ICOで販売されたトークンは総量の60%とみなされます。残りの15%はINSチームに、5%はアドバイザーと早期貢献者とバウンティ報酬に利用します。残りの20%に関しては積立金とします。積立金は将来新しい顧客にエコシステムに参加してもらい、積極的に利用してもらうために広く利用します。

9.2. トークンセールの収益

ICO 中に調達された資金は、ロードマップに従って使用される予定です。

予定されている資金の配分	%	金額
研究・開発	50.0%	\$9,000,000
管理・運用	27.8%	\$5,000,000
マーケティング・セールス	14.4%	\$2,600,000
法務	2.8%	\$500,000
積立金	5.0%	\$900,000

弊社のロードマップでは、INSプラットフォームの全機能とすべてのエコシステム参加者のための機能豊富なアプリとインターフェイスの開発、ならびにメーカーや消費者による普及を促進するための強力なマーケティング支援を想定しています。

研究開発費用には、スマートコントラクト、暗号化メカニズム、INS プラットフォーム、アプリケーションやインターフェイス、SDK などの設計と開発などのすべての研究開発費が含まれます。約 35 人の技術者を抱える研究開発センターの開設も含まれています。

管理・運営費用には、研究開発チームを除くすべての INS 従業員の給与が含まれます。

マーケティング・セールスの予算はメーカーと消費者の両方の取得に充当されます。

法務関係の費用には、各国のINSエコシステムの拡大に関連するすべての法的費用が含まれています。

危険準備金は総予算の 5 %として計算されます。

9.3. KYC（顧客確認）

デジタルトークンの取引が禁止されている、または適用法または規制によって制限されている、あるいは本契約書が有効になった後にいつでも禁止または制限されうる国・地域を常居所

とする、または所在地または法人拠点を置く市民、自然人および法人（「制限付き人物」）に対するトークンの提供や配布、ならびに転売や譲渡を行うことはできません。

弊社は制限付き人物の参加を受け入れることはありません。また、顧客確認手続きの中で購入者によって提供された情報が十分ではない、不正確または誤解を招く可能性がある、あるいは購入者が制限付きの人物とみなされるような場合はいつでもINSトークンの購入要求を拒否または取り消す権利を有するものとします。

9.4. ESCROW

INSトークンのトークンセールで受け取った全てのトークンはマルチシグのウォレットでエスクローされます。鍵はINSチームと国際的な法務アドバイザーでアジア最大の法律サービスネットワークのYingkeのメンバーであるNektorov Saveliyev & Partnersが保管します。NSPは中国、イギリス、スイス、イタリアを始めとして30か国以上に事務所を構えています。

9.5. INS PROMO TOKEN (INSP) AIRDROP

11月1日時点で0.1ETH以上ある全てのETHアドレスに対して、INSPトークンをエアードロップします。その合計は500,000,000INSPを配布します。INSPトークンを持っているとトークンセール中5%のボーナスを受け取ることができます。ただし、INSPトークンはプロモトークンに過ぎず、INSトークンと交換することはできません。

コンタクトアドレス: 0x52903256dd18D85c2Dc4a6C999907c9793eA61E3

INSPエアードロップの目的:

- 本プロジェクトに関わる公正で、公平な機会を色んな人に与える
- 多くの人からの注目を浴びることを容易にするため。

※INSPトークンを受け取るのに何かをする必要はありません。プライベートキーを聞こうとする一切の要望は無視してください。

10. チームおよび顧問

一流のテクノロジーと小売企業での経験を持つ35人の専門家です。創設者の Peter Fedchenkov と Dmitry Zhulin は 2010 年以來の旧知の仲であり、2013 年以來一緒に仕事をしています。弊社は世界的に有名なアドバイザーや投資家から支持を得ています。

選抜されたチームの経験



10.1.顧問



EYAL HERTZOG   **Bancor**

プロダクトアドバイザー

Bancorの共同設立者、チーフアーキテクト、製品開発責任者。Eyalは、リアルアントレプレナー、MetaCafeとContact Networksの創始者であり、仮想通貨とインターネットに関する率直な思想的リーダーです。



MICHAEL TERPIN   **BitAngels**

顧問

40 件以上の ICO を成功させた PR 会社である Transform グループの CEO 兼最高経営責任者。仮想通貨の投資家グループであるBitAngelsの共同創設者兼会長。CoinAgenda の創設者兼代表取締役。Alphabit 基金特別顧問



MOE LEVIN  

顧問

Keynote 社 CEO、Global Blockchain Council（世界ブロックチェーン協議会）執行委員、North American Bitcoin Conference（北アメリカビットコインカンファレンス）の創業者。 Moe は先見の明を持つ企業家で、仮想通貨界の有名なリーダーです。



DAVID WACHSMAN   WACHSMAN PR

PR 顧問

David は、数あるプロジェクトの中でも Dash、Iconomi、Aragon、Kraken、Lisk、Kik に対するコミュニケーションをリードする、世界最大のブロックチェーンに焦点を当てた広報機関である Wachsmann PR の創設者です。



RAWI ABDELAL 博士 

学術顧問

Rawi Abdelal はハーバード・ビジネススクールのハーバート・F・ジョンソン国際経営学教授であり、ハーバード大学ロシア・ユーラシア研究所（デイヴィス・センター）の所長でもあります。



GEORGE LI  

STRATEGY ADVISOR

Co-Founder and CEO of WeTrust.io, a company building financial dApps. Previously with Google Business Strategy and McKinsey & Co. Stanford University Alum.



SEBASTIAN STUPURAC  

コミュニティ・アドバイザー

成功したコミュニティ活動とスマートコントラクトの促進プラットフォームであり、Ethereum ブロックチェーン上で稼働する数少ない DAPPS の一つである Wings の共同創業者。 2013 年からの分散ソリューションおよびブロックチェーン技術に関する豊富な経験を有しています。



ILYA PEREKOPSKY  

ICO アドバイザー

ブラックムーン・フィナンシャル・グループ（2017 年 9 月の ICO で 3,000 万ドルを調達）の共同創業者。 世界に 4 億人以上のユーザーを擁するロシアの代表的なソーシャルネットワークである VK の初期の従業員であり、最近副社長に就任しました。

10.2. コアチーム



PETER FEDCHENKOV

創業者

豊富な製品及び技術的な経験をチームに還元しています。過去、ゴールドマンサックスおよびIBM に在籍。リガ市内のストックホルム商科大学にて小売業に関する講義を担当。ハーバード・ビジネス・スクールにて MBA を取得。



DMITRY ZHULIN

創業者

小売およびeコマースにフォーカスした、ベンチャーキャピタルおよび未公開株式の専門家。仮想通貨資産への投資を5年間経験。過去、VTB プライベートエクイティ、ロスチャイルド、プライスウォーターハウスクーパースに在籍。ロンドン大学にて金融工学の博士号を取得。



DMITRY KHOVRATOVICH

ブロックチェーンおよびスマートコントラクト

暗号およびセキュリティ分野の著名な専門家（12年間、2,000 回以上各所で引用される）。Argon2（Password Hashing Competition の勝者）および Equihash の設計者。



PAVEL YAKSHANKIN

技術担当

5 年以上開発チームを率いた経験を持っている。過去、Undev、FunBox および Voltmbi に在籍。RailsClub 2016 会議の登壇者。Ruby、Javascript、Erlang を経験。



MICHAEL SCHMIDT

米国内への展開

テキサス州オースティンを拠点に活動。新技術製品の立ち上げに関する豊富な経験を有する起業家兼エンジニア。ジョージア工科大学にて MS を取得。
ハーバード・ビジネス・スクールにてMBAを取得。



PRABHAKAR REDDY

アジアでの拡大

インド、ドバイ、サンフランシスコで 9 年以上ビジネスを成功させているシリアルアントレプレナー。ハーバード・ビジネス・スクールで MBA を取得。



MARIA LAPUK

広報

デジタル広報に関する 10 年以上の経験を有する。地域で最も有名な広報リーダーの一人。Maria の受賞歴には「2015 年の広報プロフィール」、「最も影響力の強いネットワーカー 2013」、「2012 年の広報専門家」があります。



FEDOR LISITSYN

メーカー関係

日用消費財分野において豊富な経験を持つ経験豊富な戦略のプロフェッショナル。過去、McKinsey & Company にて主に運用プロジェクトを担当。ハーバード・ビジネス・スクールの MBA 候補生。



ヨーロッパでの拡大

FMCPと小売に関してのエキスパート。この分野やEコマース、オンラインマーケットプレイスにおいて15年以上の経験がある。以前はアクセンチュア勤務。エラスダムス大学でビジネス経済の修士を取得、TIALにてMBAを取得。



リーガルアドバイザー

Nektorov, Saveliev & Partnersのパートナー。会社法とファイナンスアドバイザーを20年以上経験。UBSモスクワの前ジェネラルカウンシル、ジョージア大学ロースクールのLLM修了。

12. リスク要因

INS トークンの取得には、高いリスクが伴います。INS トークンの潜在的購入者は、INS トークンを購入する前にこれらのリスクに関する以下の情報を注意深く検討する必要があります。以下のリスクのいずれかが実際に発生した場合、INS プラットフォームおよび INS トークンの価値に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

本ホワイトペーパーで後述するリスクと不確実性は、トークン所有者が直面する唯一のものではない可能性があります。その他のリスクおよび不確実性も、INS プラットフォームまたは INS トークンの価値に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

1. INS トークンの価値に関連するリスク

1.1. INS トークン市場の未整備。 INS トークン向けの公開取引市場は現状存在しないため、本ホワイトペーパーに記載されている INS トークンの販売の結果、INS トークン向けの活発的または流動的な市場が生まれない可能性があります。その価格が大きく変動する可能性もあります。INS トークンの取引を可能にするため、仮想トークン交換を行うためのアプリケーションが作成されていますが、INS トークンの販売後には活発な公開市場が発展しなかったり維持されなかったりする可能性があります。INS トークンの流動性がある取引市場が発展しない場合、INS トークンの価格はより不安定になり、トークン所有者がINS トークンの売買を随時行うことができなくなる可能性があります。

1.2. 非常に投機的な取引価格に関連するリスク。 流通市場におけるデジタルトークンの評価は通常、不透明かつ投機的なものです。INS トークンは弊社の資産に対するいかなる所有権も有しておらず、有形資産に裏付けされたものではありません。INS トークンの取引価格は短期間で大幅に変動する場合があります。トークン所有者が自身の拠出金額全体を失う可能性があるという、高いリスクがあります。最悪のシナリオでは、INS トークンは無価値になる可能性があります。

1.3. INS トークンは無価値になる可能性があります。 INS トークンには価値がない可能性があります。INS トークンの流動性を保証したり、表明したりすることはありません。弊社関係者は INS トークンの市場価値、INS トークンの譲渡可能性や流動性、ならびに第三者またはその他によって INS トークンが市場で利用される可能性について責任を負わないか、または責任を問われないものとします。本ホワイトペーパーのこのセクションの目的上、「弊社関係者」という用語には、弊社ならびに、過去在籍していた・現在在籍中・将来在籍予定であるかどうかを問わず、その従業員、役員、取締役、請負業者、コンサルタント、弁護士、会計士、財務アドバイザー、株主、サプライヤー、調達先、サービスプロバイダー、親会社、子会社、関連会社、代理人、代表者、前任者、後継者、および譲受人（以下、本セクションでは「弊社関係者」といいます）が含まれています。

1.4. INS トークンは払い戻しできません。 法的拘束力のある文書に記載されているか、または適用法規に規定されている場合を除き、弊社関係者は INS トークン所有者に INS トークンに関する払い戻しを提供する義務はありません。INS トークンに関しては、固有の価値は約束されず、継続的な支払いも約束されず、トークンが特定の価値を保持することを保証できないなど、将来のパフォーマンスや価格を約束することはできません。したがって、使用済みのリソースの回復は不可能であるか、または外国の法令または規制の対象となる可能性があります。これらの法令や規制は、INS トークン所有者の私法とは異なる可能性があります。

2. ブロックチェーンとソフトウェアのリスク

2.1. ブロックチェーン遅延のリスク。 暗号通貨のトランザクション（例：Ethereum、ビットコインのブロックチェーン）に使用される大抵のブロックチェーンでは、ブロック生成のタイミングはプルーフ・オブ・ワークによっ

て決定され、ブロックの生成はランダムな時間に行われる可能性があります。たとえば、INS トークンセール最後の数秒で INS トークンの支払代金として送金された仮想通貨は、その期間に含まれないことがあります。それぞれのブロックチェーンには購入者が期待した時点での購入者のトランザクションが含まれていない可能性があり、購入者からの仮想通貨送金日とは異なる日に INS トークンの支払代金が目的のウォレットアドレスに到達する可能性があります。

2.2. ビットコインの渋滞リスク。仮想通貨のトランザクション（例：Ethereum、ビットコインのブロックチェーン）に使用される大抵のブロックチェーンでは定期的に渋滞が発生する傾向があり、トランザクションの遅延や紛失が発生する可能性があります。個人が仮想通貨を購入する際に有利になるように意図的にネットワークを輻輳させることもあります。その結果、作成されたブロックに購入者が望むタイミングで購入者のトランザクションが含まれない、または購入者のトランザクションが全く含まれないといった状況が発生する場合があります。

2.3. ソフトウェアの弱点によるリスク。トークンのスマートコントラクトの概念、および基礎となるソフトウェアアプリケーションおよびソフトウェアプラットフォーム（すなわち Ethereum、ビットコインブロックチェーン）はまだ初期段階にあり、実証されていない状況です。INS トークン生成プロセスに中断やエラーが発生しないことを表明したり、保証したりすることはありません。仮想通貨や INS トークンの完全な損失を引き起こす弱点、脆弱性またはバグを含む可能性がある、固有のリスクがあります。

2.4. 新技術に関するリスク。INS プラットフォーム、INS トークン、および本ホワイトペーパーの記載事項はすべて新しいものであり、未検証です。INS プラットフォームおよび INS トークンは、完成、作成、実装または普及できない可能性があります。INS プラットフォームを活用するブロックチェーンが今後登場しない可能性があります。INS トークンの購入者は INS プラットフォーム、トークンのスマートコントラクト、または将来的に INS プラットフォームに関連する INS トークンを受け取れる可能性を当てにすべきではありません。仮に INS プラットフォームが完成し、実装され、普及した場合でも、プラットフォームが意図したとおりに機能しない可能性があり、INS トークンが希望する、あるいは価値のある機能を持たない可能性があります。また、技術の急速な変化によって INS プラットフォームと INS トークンが無効になる可能性があります。

3. セキュリティ上のリスク

3.1. 秘密鍵紛失のリスク。INS トークンは、アクセスの際に秘密鍵または秘密鍵の組を要求するトークン所有者のデジタルウォレットまたはデジタルボルトに保管されます。したがって、かかる INS トークンが保管されているトークン所有者のデジタルウォレットやデジタルボルトに必要な秘密鍵を紛失した場合は、かかる INS トークン、トークン所有者のトークン残高や第三者が作成したブロックチェーン内の初期残高へのアクセス権限が失われることになります。また、第三者がかかる秘密鍵へのアクセス権を獲得した場合や、トークン所有者が使用するホスティング環境のウォレットやボルトサービスのログイン情報へのアクセス権を獲得した場合、トークン所有者の INS トークンが着服される可能性があります。

3.2. トークンの安全性の欠如。INS トークンは収用や盗難の対象となる場合があります。ハッカーやその他の悪意のあるグループや組織が、マルウェア攻撃、DoS 攻撃、コンセンサススペースの攻撃、シビル攻撃、スマーフ攻撃、なりすましなど、さまざまな方法で INS トークンまたは INS トークンを生成するトークンのスマートコントラクトに干渉しようとする可能性があります。また、Ethereum プラットフォームはオープンソースソフトウェアに依存しているため、Ethereum のスマートコントラクトには INS トークンに悪影響を及ぼしたり、INS トークンが失われたり、INS トークンに対するアクセス権や制御が失われたりする可能性のある意図的または不測のバグや弱点を抱えているというリスクが存在します。このようなソフトウェアの不具合や弱点があった場合、救済策がない可能性があります、INS トークンの保有者に対する救済や返金、保証金は一切保証されません。

3.3. トークンのスマートコントラクトに対する攻撃。INS トークンを生成するトークンのスマートコントラクトに使用されるブロックチェーンは、二重支払い攻撃、過半マイニングパワー攻撃、「利己的マイニング」攻撃、競合状態攻撃などのマイニング攻撃の影響を受けます。いかなる攻撃の成功もトークンのスマートコントラクトに対するリスクであるため、INS トークンのトランザクションの適切な実行と優先順位付けが期待されており、適切なコントラクト計算の実行と優先順位付けも期待されています。

3.4. 公開鍵の購入者アカウントへのマッピング失敗。 INS トークンの購入者が公開鍵をその購入者の口座にマップすることができない場合、第三者が INS プラットフォームに基づいて新しいブロックチェーンの初期残高を設定すると、その第三者は Ethereum ブロックチェーン上にある購入者の INS トークン残高を認識できなくなる可能性があります。

3.5. 互換性のないウォレットサービスに関するリスク。 INS トークンの取得と格納に使用するウォレットやウォレットサービスのプロバイダーは、INS トークンと技術的に互換性があるものでなければなりません。これを徹底しない場合、INS トークンの購入者は自身が所有する INS トークンにアクセスできなくなる可能性があります。

4. プラットフォームの開発に関連するリスク

4.1. 第三者への依存に関するリスク。 INS プラットフォームが完成に至った場合でも、INS プラットフォームは第三者にその全部または一部を依頼して普及や実装を行い、その開発・供給などを継続する予定です。これらの第三者が業務を完了し、適切に義務を履行し、または他者のニーズを満たす保証はなく、これらすべてが INS プラットフォームに重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

4.2. シニアマネジメントチームへの INS プラットフォームの依存。 INS プラットフォームの競争上の地位を維持する責任を負うシニアマネジメントチームの能力は、そのチームの各メンバーのサービスに大きく依存しています。各シニアマネジメントチームのメンバーのサービスの消失または低下、または新しい上級管理職の募集、雇用および維持が不可能な場合、INS プラットフォームに重大な悪影響が及ぶ可能性があります。必要条件を備えた人材の数が少ないために関連する専門知識を持つ人材の獲得競争は激しく、このような状況が既存の上級管理職の維持や、新しい上級管理職の募集能力に重大な影響を与え、INS プラットフォームに重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

4.3. 様々な要因への INS プラットフォームの依存性。 一般大衆からの関心の欠如、資金不足、商業的成功や見込みの欠如、キーパーソンの離脱など、いくつかの理由で INS プラットフォームの開発が放棄される可能性があります。

4.4. INS プラットフォームへの関心の欠如。 INS プラットフォームが完成し、普及した場合でも、INS プラットフォームの継続的な成功は開発者などの第三者の関心と関与に懸かっています。INS プラットフォームに対する十分な関心や参加があるという確約や保証はありません。

4.5. INS プラットフォームに対する変更。 INS プラットフォームは引き続き開発中であり、時間の経過とともに大きく変化する可能性があります。プロジェクト管理チームは、INS プラットフォームにこのホワイトペーパーに記載されている機能と仕様を持たせるつもりですが、INS プラットフォームが INS トークン所有者の期待に沿っていないという理由でかかる機能や仕様に対する変更が実施される可能性があります。

4.6. 他のアプリケーションに関連するリスク。 INS プラットフォームは、INS トークンが本質的価値を持たない、無関係の第三者によって促進される他の代替プロジェクトの元になる可能性があります。

4.7. 仮想通貨価値の不利な変動リスク。 INS トークンの売却益は仮想通貨建てとなり、他の仮想通貨や法定通貨に交換される可能性があります。INS トークンセール中またはその後に仮想通貨の価値が不利に変動する場合、プロジェクト管理チームは開発資金を確保できなかったり、INS プラットフォームを意図した方法で開発または維持することができなくなったりする可能性があります。

5. 弊社関係者のビジネスの過程で生じるリスク

5.1. 利益相反のリスクについて 弊社関係者は、それぞれ大多数の株主、自身が経営権または権益を保有している企業、およびその他の関連会社を含む関連当事者との取引に従事することができ、今後も引き続き従事し続けることができるものとする。任意の弊社関係者の関連会社と弊社関係者間で利益相反が発生する可能性があり、結果として市場に左右されない条件での取引結果となる可能性があります。

5.2. 弊社関係者の取引の無効化に関するリスク。弊社関係者は、自身の事業が適用される法的要件を遵守しなかったことが問題になった場合や、無効化されたり、それぞれの弊社関係者に負債が課されたりする可能性があった場合は、それらの事業に関するさまざまな措置を講じてきました。適用される法律は多くの異なる解釈がなされる可能性があります。そのため、各弊社関係者はかかる取引にもたらされた課題から自身を正しく守ることができない可能性があり、かかる取引が無効化されたり、その責任が賦課されたりすることで、個別または全体的に INS プラットフォームに対する重大な悪影響が生じる可能性があります。

5.3. 新興市場に起因するリスク。弊社関係者またはその一部は、新興市場で事業を営んでいる可能性があります。新興市場は、法的、経済的、政治的リスクなど、先進国市場よりも大きなリスクを負っています。新興国は急速な変化を迎えているため、本ホワイトペーパーに記載されている情報は比較的早い段階で陳腐化する可能性があります。

6. 政治リスク

6.1. 不確実な規制の枠組み。仮想トークン、デジタル資産、ブロックチェーン技術の規制状況は、多くの国で未だ不明瞭かつ不安定です。このような技術を政府当局が規制するかどうか、またはその規制方法を予測することは困難です。政府機関が仮想トークン、デジタル資産、ブロックチェーン技術、およびそのアプリケーションに影響を及ぼす既存の法令、規制、規則に対する変更を行うかどうか、またはその方法を予測することも同様に困難です。このような変更は、たとえばトークンが登録を必要とするような規制対象の金融商品であるという決定が下ることなど、さまざまな方法でトークンに悪影響を与える可能性があります。行政措置によって INS トークンが違法化されたり、商業的に事業を継続することが望ましくない場合、弊社は INS トークンの配布や INS プラットフォームの開発を中止したり、管轄区域内での営業を中断することがあります。

6.2. 認可および許可の取得、維持または更新の失敗。INS トークンセールの開始日時時点で弊社には活動の実施に必要な認可や許可を受けることを義務付ける法的要件は存在しませんが、将来的にはそのような法的要件が適用される可能性があり、任意の弊社当事者と関係する可能性があるというリスクが存在します。この場合、弊社関係者の事業はそのような認可や許可の継続的な有効性と、その条件への遵守に依存します。規制当局は認可の発給・更新のタイミングと認可条件の遵守を監視することに関して、かなりの裁量権を行使します。これらの当局によって課せられる要件、および任意の弊社関係者に多数の標準規格への準拠、的確な人材の採用、必要な技術的機器や品質管理システムの維持、業務の監視、適切な提出書類の保管、および必要に応じて適切な情報を認可局に提出することを要求する要件によって、金銭的および時間的支出が発生する可能性があり、INS プラットフォームの運用開始または継続に遅延が生じる可能性があります。また、個人および公衆は裁判所への介入および政治的圧力などを介した認可プロセスへのコメント、あるいは認可プロセスに参加する権利を有しています。したがって、必要になる可能性がある認可が発行または更新されない可能性があり、発行または更新された場合でも適時に発行または更新されない可能性があり、またそのような認可には任意の弊社関係者が事業を行う能力や有利に事業を行う能力を制限する要件が含まれる可能性があります。

6.3. 行政措置によるリスク。弊社関係者が事業を営むのは新しい業界であり、調査や執行措置などの監視強化および精査を受ける可能性があります。政府当局が弊社関係者の業務を調査したり、それらに対する執行措置を追求したりしないという保証はありません。これらすべてのリスクによって弊社関係者に裁判、清算、罰金または罰則が課されたり、弊社の事業活動が再編されたり、特定の製品またはサービスの提供を停止させられたりする可能性があります。これらすべては弊社の評判を損なう可能性があり、結果として INS トークンや INS プラットフォームの開発に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

6.4. 適用法、規制および基準による負担のリスク 既存の法律や規制、政府による検閲の結果、または弊社関係者の事業に対する政府規制の強化により、コンプライアンス費用が大幅に増加したり、様々な制裁が科せられたりする可能性があります。それによって弊社の事業ならびに INS プラットフォームに重大な悪影響が発生する可能性があります。弊社関係者の事業および財産は、既存の法律、規制および基準の継続的な遵守に関連して、様々な政府機関および政府関係機関による規制の対象となります。規制当局は、適用法、規則、および基準の執行と解釈に関してかなりの裁量権を行使します。各当局は年間を通じて、弊社関係者の事業および財産に対して定期的、かつ頻繁に点検を行う権利を有しています。そのような将来の検査によって任意の弊社関係者が法律、行政命令または規制に違

反していると判断される可能性があります。また、そのような判断結果に異議を唱えたり、違反を是正したりすることができない可能性があります。弊社関係者が既存の法律や規制または政府による検閲の結果を遵守しなかった場合、罰金または罰則、さらに重大な制裁、各弊社関係者による事業活動の一部停止要求、各役員に対する刑事上および管理上の罰則が課される可能性があります。このような意思決定、要件または制裁、または各事業に対する政府規制の強化によって、弊社関係者側の費用が増加し、弊社関係者の事業および INS プラットフォームに重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

6.5. 非合法的または恣意的な行政措置政府当局は高い裁量権を持ち、時には選択的または恣意的に事情聴取や予告なしに、また、時には法に反したやり方で政治的または商業的考慮の影響を受けて行動することがあります。さらに、政府は特定の状況においても権限を有しており、規制や行政措置によって契約の成立を妨害したり、契約を破棄したり、終了させたりすることができます。非合法的、選択的または恣意的な行政措置には、認可の拒否または撤回、突然かつ予期しない税務監査、刑事訴追および民事訴訟が含まれているとされています。連邦政府および地方自治体はしばしば政治的な目的のために、トークンセールを取り巻く問題に共通する欠陥を裁判所に訴えるため、および関連する取引の法的効力をなくしたり、無効化したりするためのその他要求の口実として利用してきました。このような環境では、弊社関係者の競合他社が政府から潜在的に弊社関係者に対する競争上の優位性を与えるような優遇措置を受ける可能性があります。



INS を支援し、このプロジェクトに今すぐ参加しましょう

www.ins.world

[1 ページ資料](#)

[プレゼンテーション](#)



